



「琵琶湖に住んでいる魚介類について説明する講師」

テーマ

Theme

琵琶湖の水とプランクトン学習について

学校・園名

School name

大津市立坂本小学校

講師等

Lecturer etc.

滋賀大学「環境学習支援士」会

実施日

Date

2018年5月30日

教科等

Subject etc.

総合

授業

Class



大津市立坂本小学校で5年生(75名)を対象に、滋賀大学「環境学習支援士」会による連携授業が実施されました

1時間目はパワーポイントを見ながら、滋賀県の地図や昔の琵琶湖の写真から気づいたことを話し合いました。昔は琵琶湖の水を飲んで顔を洗い洗濯をしていたこと、現在も湧水の利用があることなどを知り、子どもたちは驚いていました。その後、水の性質や水の循環、プランクトンについて学習しました。

2時間目は「びわこの未来を考え発信します」をテーマにワークショップに形式で、15枚のカードから未来に残したい琵琶湖の姿を、班で2つ選びその理由を考え発表しました。

『ここ10年の水質の改善』のカードを選んだ班は「きれいな水にして在来種を住みやすくしてほしい。」と、また『棚田の風景を残す』のカードを選んだ班は「お米がおいしくて洪水が少ない未来になってほしい。」と、それぞれ発表しました。

班で意見が分かれる場面もありましたが、みんなの思い描く琵琶湖の未来の姿を考えました。

最後に子どもたちは、講師から「『うみのこ』に乗ったら五感で全身で琵琶湖を感じてください」との言葉を送られ、身近な琵琶湖の歴史を学び、9月のフローティングスクールに向けて、琵琶湖への関心、意欲を高めることができました。

感想

Impression

児童より Impression from Children

- プランクトンや水鳥を実際に見てみたい。
- うみのこに乗るのが楽しみになった。

学校より Impression from school

事前に電話で内容を丁寧に相談させていただくことができました。

ワークショップでは学んだことを基に話し合うことができました。、プランクトンなどに関心を深めていた子どもが多く、フローティングスクール事前学習としては、とても貴重な授業になりました。

講師より Impression from lecturer

電話での事前打ち合せだけでしたが、学校側の受け入れ体制がよく、スムーズに進められました。子どもたちは元気よく楽しそうに学習をしていました。